糸魚川市立糸魚川小学校
白馬童子
学校だより　第９号
令和７年１月 24 日
TEL:025-552-0042　FAX:025-552-1304　E-mail:itosyo@itoigawa.ed.jp
(ＨＰ)https://www.itoigawa.ed.jp/itosyo/(携帯)http://itoigawa.ed.jp/itosyo/otayori/i/

ハッピー･サポートでつくろう　幸せな学校（始業式の講話から）

校長　冨永　浩文

新学期は、冷たい雪が吹き付ける中でスタートしました。小寒という暦のとおり、凍えるような寒さです。そんな中、「明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いします。」と、校門に立つ私にある男の子が元気に挨拶をしてくれました。心が一気に温かくなって、幸せな気分でした。私にとって幸せな学校が、また始まりました。保護者の皆様には、冬休み中、子どもたちを見守りいただき、３学期また学校に送り出していただき、心から感謝いたします。始業式、私は子どもたちに、「みんなで幸せな学校をつくろう」と話しました。以下講話の一部です。

窓ガラスアートでハピ･サポ

２学期の終わり、ハッピー学年の６年生が、窓ガラスアート（キットパス）に、全校の皆さんを誘ってくれました。そして、１階渡り廊下のガラス戸に、思い思いに、たくさんの絵を描きました。ほのぼのとした素敵なアートができました。初めて挑戦する人は、もちろん楽しそうでしたが、それを見つめる６年生のまなざしがとても優しく、また楽しそうで、私はその様子を見ていてうれしくなりました。ハッピー学年の６年生が、全校の皆さんを笑顔にし、幸せな気持ちにしてくれているのですね。私は勝手に「ハッピー･サポート」と名付けてしまいました。

６年生だけではありません。５年生は、翠明苑の皆さんとの交流で、また、４年生は、ひすいの里の子どもたちとの交流で、ハッピー･サポートをしてきました。私は、このように自分の身の回りの人に優しい言葉を掛けたり、温かく支えたり、学校のためになることを進んでしたりする空気が、どんどん広がるといいなと思いました。だから、皆さんに、自分から、自分たちの手でハッピー･サポートをしてほしいのです。ハッピー･サポート、略して「ハピ･サポ」です。

人がハッピー（幸せ）になり、笑顔になって、どんどんつながり、広がると、学校全体がハッピーになります。そうすると、人をハッピーにした自分もハッピー、笑顔になれるのです。頭の中に、「幸せホルモン」が溢れてきます。体の中から自信が出て、やる気がもりもり出てきます。勉強もよくできるようになります。他にも、得することがたくさんあると思います。相手も、自分もハッピーになって得をする「ハピ･トク」（あるコンビニのＣＭから）です。

３学期、そして、今年１年、校歌の歌詞にあるとおり「いざや努めん　いざや進まん」、人のため、学校のため、そして、自分のため、ハピ･サポで、ハピ･トクをゲットしましょう。ちなみに、手っ取り早いハピ･サポは、言葉です。正しく、優しい言葉、励ましや感謝の言葉を掛けることです。心のこもったあいさつやそうじ、係や当番活動を積極的にするのもいいですね。皆さんの熱い思いや温かい心で雪を溶かし、冷たい空気を温め、希望の春を引き寄せましょう。